



誰もが楽しく幸せに6年間を過ごせる別府小学校
～全ての子どもに居場所がある学校づくり～
～学校だより夏休み号 巻頭言として～

令和7年7月17日(木)
発行：摂津市立別府小学校
校長 河平 浩一

～一学期 お疲れさまでした ～夏へつながる子どもたちの成長～

春に出会った子どもたちが、笑顔と自信に満ちた表情で、一学期の締めくくりを迎えようとしています。授業や休み時間、友だちとのふれあいの中で、子どもたち一人ひとりに大きな成長が見られたことを、私たちはうれしく感じています。

先日実施した「学校教育自己診断アンケート(児童)」では、「学校が楽しい」「幸せだと思う」「あいさつをするなどのコミュニケーションができる」といった、学校教育目標に関わる多くの項目で、昨年12月と比べて肯定的な回答が大きく増加しました。特に「学校が楽しい」と答えた児童は、約10ポイント増加しており、子どもたちが「この学校が好き」「ここにいていい」と感じながら、毎日を過ごしていることが読み取れます。このような変化は、何よりも私たち教職員にとって、大きな励みとなっています。

また、保護者の皆様からいただいたアンケートにおいても、回答率が36%から43.6%に上昇したことに加え、「楽しく登校している」との強い肯定的回答が増加しており、ご家庭でのあたたかい見守りや励ましのおかげだと、心より感謝申し上げます。

今年度の始めから、「誰もが楽しく幸せに過ごせる学校にするには、何ができるだろう?」という問いを、子どもたちに投げかけてきました。その問いかけに対して、自分たちで考え、行動する姿がさまざまな場面で見られるようになりました。

子どもたち自身の力で学校をより良いものにしようとする姿勢が育まれてきているように思います。今後のさらなる成長が本当に楽しみです。

まもなく、子どもたちが楽しみにしていた夏休みに入ります。夏休みは、普段の学校生活では得られない多様な体験や学びに出会える大切な時間です。自然の中での発見、家族とのふれあい、本を読んで心を耕すこと、地域とのつながり…。その一つ一つが、子どもたちの世界を広げ、心と体を育ててくれることと思います。ご家庭でも、お子さんの「やってみたい」という気持ちをあたたかく見守りながら、この夏ならではの経験を楽しんでいただければと思います。

二学期も、子どもたちが「自分らしく」「ともに」成長していけるよう、「誰もが楽しく幸せに過ごせる学校づくり」に向けて、教職員一同、力を尽くしてまいります。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

